



活力ある街づくり

羽幌町長 駒井久晃

新年明けましておめでとうございます。令和5年の輝かしい新春を、ご家族皆様お揃いでお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃より町行政に対し、多大なるご理解ご協力をいただいておりますことに、厚くお礼を申し上げます。

また、昨年11月の町長選挙におきまして、皆様の温かいご支援のもと、無投票での当選という誠に身に余る栄を賜りました。引き続き町政のかじ取りを担うこととなり、皆様の信頼と負託にお応えするためにも、全力で町政運営に努めてまいります。

本町の1年を少し振り返りますと、焼尻島では、一昨年に17年ぶりに確認したニシンの群来の2年連続での確認、4月には、島外からの入学生確保のため募集活動を続けている天売高校の生徒が15名を超えたこと、天売高校を題材としたテレビドラマ「春の翼」の放映。スポーツにおいては、羽幌中学校3年生のスノーボード

全国大会での5位入賞、バレーボール少年団「羽幌ジャンプ」の全道大会出場、野球少年団「羽幌フェニックス」の3つの全道大会出場、羽幌高校ラグビー部の全道大会出場や羽幌高校ラグビー部員が北海道の選抜代表として全国大会への出場など明るい話題がありました。

基幹産業であります「農業」では、留萌管内産米の作柄が4年連続で「良」の最高評価を記録。留萌管内全農協の広域合併により発足した「るもい農業協同組合」と管内8市町村が包括連携協定を締結し、J.Aるもいの販路拡大のみならず「るもい」の観光や漁業など他産業の魅力を全国に発信すべく、農協と行政が連携して取り組んでいるところであります。「漁業」については、留萌管内の「秋さけ」の水揚げが32年ぶりに3千トンを超え、北るもい漁協が管内4漁協で最多の水揚げとなりました。また、昨年はホタテ増養殖作業保管施設の舗装

整備を支援し、漁業者の作業負担軽減と水産業振興が図られたものと考えております。

町行政では、昨年3月に「第7次羽幌町総合振興計画」を策定し、まちづくりにおける各種課題を解決すべく、取り組みを進めているところであります。

本計画の策定にあたっては「産業の振興」「健全な行政運営」「医療・介護・福祉施策の充実」「教育・文化・交流の振興」「防災の充実」「自然環境・土地利用の推進」「生活環境の充実」の7つの基本目標を掲げ、さらに、基本目標を達成するための基本方針を5年間で見直す形とするなど、これまでの総合振興計画から少し形を変えて策定いたしました。

また、開設から50年以上経過し老朽化が進んでいたスポーツ公園陸上競技場の大規模改修を施工。財源の一部につきましては、ふるさと納税を活用したクラウドファンディング

により賄うこととしております。学校施設では焼尻小中学校の耐震化を図るため、耐力度調査を実施。そのほか、羽幌町中央公民館旧館の建て替えに向けた基本設計の策定に取り掛かっております。

引き続き、町民、議会そして町が密接に連携し、基幹産業の振興や地域活性化、安心安全で住みよい環境の築き上げに全身全霊で取り組んでまいりますので、町民の皆様が力強いご支援とご協力をお願い申し上げます。

さて、今年は就任3期目のスタートの年であります。本年も、依然として厳しい状況が続く幾多の困難が予想されますが、職員ともども町民の皆様が幸せを実感できる「まちづくり」を進めてまいりたいと考えております。

結びに、町民の皆様には、健康には十分ご留意いただき、明るく生き生きと楽しく暮らすことができ、良い一年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。